

①日本国特許庁 特許出願公開
昭54—547

①Int. Cl.¹ 識別記号 ②日本分類 庁内整理番号 ③公開 昭和54年(1979)1月5日
C.06 F.15/20 97(1) J.1 7165-5B

発明の数 5
審査請求 未請求

(全20頁)

④利用者が段階的に取引業務処理を行なうための方法及び端末装置

⑤特 願 昭53—36906

⑥出 願 昭53(1978)3月31日
優先権主張 ⑦1977年4月25日⑧アメリカ国
(U.S.)⑨790764

⑩発 明 者 ポール・エフ・グレースー
アメリカ合衆国カリフォルニア
州カルバー・シティ・タイン
バーレイク・テラス5004

⑪発 明 者 リチャード・ジェイ・オーフ
ード
アメリカ合衆国カリフォルニア
州ハーモナ・ビーチ・サード
イースト・ストリート23
⑫出 願 人 トランザクション・テクノロジ
イ・インコーポレーテッド
アメリカ合衆国カリフォルニア
州ロス・アンジェルス・ウエル
シャー・ブールバード10880
⑬代 理 人 弁理士 浅村 皓 外3名

明 細 書

1. 発明の名称
利用者が段階的に取引業務処理を行なうための方法及び端末装置

2. 発明の要旨

(1) 利用者が段階的に取引業務処理を行なうための取引業務の特定の段階で利用者の指示又は表示する情報表示装置、
該情報表示装置に接続して設けられた情報通信網に
であつて、各情報網は該情報表示装置上の特定の指
示又は表示に対応して、いかなる種類の情報通信網
と、及び

上記の情報網とつながり、特定の段階で利用
者であるような通信網だけを通知可能とするため
の通信網を含む情報網であつて、上記情報表示装
置は該通信網の特定の各段階で次の情報網へ進むた
めであり、且つ該通信網の通信網の間の一つ
を通知する指示を含む表示を行なうような、利用
者が段階的に取引業務処理を行なうための情報網
と、上記の情報網が通信可能となつてゐるものと

は該通信網でも表示されるような特許請求の範囲

1. 通信網の利用者が段階的に取引業務処理を行
なうための端末装置。

(2) 各情報網が通信網を有することにより上記の通
信網表示をするような特許請求の範囲と、通信網
の利用者が段階的に取引業務処理を行なうため
の端末装置。

(3) 上記情報表示装置上の指示文の各位置から特
定する通信網へ伸ばした特定の記号により上記
指定の指示文を行なうような特許請求の範囲と、
通信網の利用者が段階的に取引業務処理を行な
うための端末装置。

(4) 上記特定の記号が矢印であるような特許請求
の範囲と、通信網の利用者が段階的に取引業務
処理を行なうための端末装置。

(5) 上記情報表示装置がテレビ画面であるような
特許請求の範囲と、通信網の利用者が段階的に
取引業務処理を行なうための端末装置。

(6) 特許請求の範囲と、通信網の利用者が段階
的に取引業務処理を行なうための端末装置。

特許昭54—547(2)

それと特定の通信網に接続し上記特定の通
信網と対応する指示文との中間位置に上記特定の
表示と指示文とを該特定の通信網に付する通信網の目
立つ部分を有するよう利用者が段階的に取引業
務処理を行なうための端末装置。

(7) 通信網を有するよう特許請求の範囲と、通信
網の利用者が段階的に取引業務処理を行なうた
めの端末装置。

(8) 上記特定の通信網が情報表示装置の一面に付
て位置づけられ、且つその面によって構成される
ような特許請求の範囲と、通信網の利用者が段
階的に取引業務処理を行なうための端末装置。

(9) 通信網を有するよう特許請求の範囲と、通信
網の利用者が段階的に取引業務処理を行なうた
めの端末装置。

(10) 通信網を有するよう特許請求の範囲と、通信
網の利用者が段階的に取引業務処理を行なうた
めの端末装置。

(11) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(12) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(13) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(14) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(15) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(16) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(17) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

(18) 上記特定の通信網が段階的に取引業務処理
を行なうための端末装置。

の目立つ部分を有するような利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(c) 特定の取引メニューを有する特別な機能専用の機能選択部を有するような取引請求の範囲第18項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(d) 上記機能選択部が機能表示領域の一切に占つて記載されたような取引メニューのグループで構成されるような取引請求の範囲第19項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(e) 特定の取引メニューを有する特別な機能のための取引メニューを機能表示領域の他の部分に占められ、有するような取引請求の範囲第20項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(f) 上記取引メニューのそれぞれが占めているときそれぞれが選択可能となるような取引請求の範囲第21項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(g) 特定の処理において利用者が情報を入力を行なうためのメニューを有するような取引請求の範囲第22項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(h) 特定の処理において利用者が情報を入力を行なうためのメニューを有するような取引請求の範囲第23項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(i) 特定の処理において利用者が情報を入力を行なうためのメニューを有するような取引請求の範囲第24項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(j) 特定の処理において利用者が情報を入力を行なうためのメニューを有するような取引請求の範囲第25項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(k) 上記請求範囲に初期動作をさせるためのメニューを取り組むも有するような取引請求の範囲第26項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(l) 特定の処理において上記請求範囲の利用者によって与えらるる支払処理を有するような取引請求の範囲第27項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(m) 特定の処理において利用者からの資金を受け取るための資金処理を有するような取引請求の範囲第28項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(n) 特定の処理において利用者の登録に際し規定の請求範囲で与えらるる設定を行なうような取引請求の範囲第29項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(o) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(p) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(q) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(r) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(s) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(t) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

範囲第2項と対応する指示文との間に位置し上記機能選択部と指示文とを複合的に結び付ける機能の目立つ部分を有するような利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(c) 上記機能選択部が機能表示領域の一切に占めて記載されたような取引メニューのグループで構成されるような取引請求の範囲第34項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(d) 上記取引メニューが複合的表示として与えらるるような取引請求の範囲第35項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(e) 上記請求範囲に初期動作をさせるためのメニューを取り組むも有するような取引請求の範囲第36項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(f) 特定の処理において上記請求範囲の利用者によって与えらるる支払処理を有するような取引請求の範囲第37項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(g) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(h) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(i) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(j) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(k) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

るための資金処理を有するような取引請求の範囲第38項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(c) 特定の処理において利用者の登録に際し規定の請求範囲で与えらるる設定を行なうような取引請求の範囲第39項に記載の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(d) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(e) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(f) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(g) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(h) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(i) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(j) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

(k) 特定の処理において上記請求範囲の利用者が假想的に取引業務処理を行なうための請求範囲。

取引業務処理を行うための方法。

- (a) 特定の処理において利用者からの命令を受け、ある処理をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (b) 利用者からの要求に応じ特定の処理において、特定の処理を記憶的に表示する設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (c) 特定の処理においてお金の処理をする設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (d) 特定の処理において利用者から情報を入力する設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (e) 利用者が設備的に処理を進めていくために特定の特定の要求で利用者への指示文を記憶的に表

示する設備。
項電表示装置上の特定の指示文位置にそれぞれ対応するよう電表示装置に連動して有数の電

- (a) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (b) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (c) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (d) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (e) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。

- (a) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (b) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (c) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (d) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (e) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。

- (a) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (b) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (c) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (d) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。
- (e) 特定の処理において請求処理の利用者に対しお金を支払う設備をも有するような特殊請求の処理部40項に記憶の請求処理の利用者が設備的に取引業務処理を行うための方法。

1. 発明の概要を説明

本発明は、銀行の金出し入れのよう各の要求する資金の取引業務処理を行う請求処理に制約及び表示用のコントロール (control) を付し、各が動作させることのできるようにした請求処理装置に関する。

本発明の請求処理装置は、レジストカードその他で初期動作をさせることができ、一日24時間の利用も可能である。この請求処理装置は、銀行員の助けなしに各が自身で簡単に必要な金額を金出し入れ処理を行うことができる。また、出納帳等の銀行員がこの請求処理装置を利用すれば、自分の仕事場所を離れても各の処理をすることが可能になる。

各自身がこの請求処理装置を使う場合、銀行員の助けを全く必要とせずに、現金やトラベラーズチェックの引き出し、預金、口座間の振込や借金返済、照会、レジストカード設定等の非常に複雑な処理を行うことができ、この請求処理装置、特にこの請求処理装置の制約及び表示用コントロールは、請求処理

の利用者が処理を行うとき間違いないように意図的に設計されていて、請求処理の利用者はこの請求処理装置を一度も利用したことがないとしてもほとんどの場合最初から間違えずに処理をすることができ、万が一間違えたとしても、請求処理のコントロール上にレジストカードが表示され、利用者はちゃんと処理を行ない、更に次の処理を行うことが出来るようにになっている。各はほとんどどの場合銀行員の助けを必要としないので、処理中に間違いを金銭処理をすることが出来る。

本発明の請求処理装置は、保管庫があつて、安全な場所にある必要のある請求処理装置を収容する。たとえば、現金箱や現金金庫が請求処理装置、また各の預金を受け取る現金箱などが請求処理装置にあるが、これらの装置は保管庫内に位置することになる。さらに、レジストカード等の請求処理装置主制御電子回路や保管庫内にある請求処理装置電子回路も、不正にこれらの制御回路に接続することを防ぐため、保管庫内に収められる。以上の保管庫に収められた請求処理装置以外に、また、各の請求庫があるが、

それらは保管庫外に設けてもよい。たとえば、受取証の印刷部を持つ請求処理装置は、この印刷部を保管庫とは別の補助回路内に収められ、その補助回路を必要とする電線等の保管庫もこの補助回路に収められ、この補助回路は、本発明の請求処理装置でその必要のないときは、本発明の請求処理装置で保管庫は無くてもよい。また利用者がこの補助回路に上記の請求庫はそれぞれ各持することである。

本発明の請求処理装置は上記の他に請求処理装置の補助回路に制約及び表示用コントロールがあつて、各の利用者がこのコントロールを使うことにより、各が金出し入れ等の処理を行なえるようにになっている。たとえば、このコントロールには現金送り出し装置があつて、この送り出し装置とつながる現金支払装置は現金やトラベラーズチェックを保管庫内の保管庫所からコントロール上へ送り、各の現金の支払を行なう。またこのコントロール上の現金支払は、各が現金を保管庫外の位置から保管庫内の現金箱へ納めることをする。さらに、必要なく

画面表示位置と組み合わせた特定の押しボタン
の中で選択してもよい押しボタンだけ選択可能と

従来の田舎会館出し入れ搬運では、両面表示板

従来の液体磁石の中にも、過剰すべをザーザが原因に現われ、磁石上のザーザ判と被検線の過剰スライチとが対応して並んでいるような各過剰ザーザについて調べていくための検査指示図鑑がある。

処理の次の段階でも、若はある選択枝の組の中
から一つを選ぶことになる。それらの選択枝は面

また従来の装置で、選択スイッチの中の設定の

-281-

本発明の請求範囲は、住宅地域の共同住宅や在

※ 本機は、電源ケーブルの接続に誤りがないよう、必ず電源ケーブルの両端に「安全接地」のマークが記されていることを確認してください。

—792—

本説明をより明らかに理解できるよう、以下で

コンソール10には制御及び表示部20があつ

中、金額及び他の必要情報等仕組間の情報を互
が入手できるようにになっている。

第2図で表わしたように保管費12は実際は不
変な費用となつていて、この金額の中で損失減
少の安全にしまつておく必要のある部分を抽
出してゐる。たとへば現金支払減50は保管費

1 2 例に依り、預金は支払保証 50 と組合しているが、図に詳細が示されている現金を送り出し保証 20 に依り、現金支払保証 50 から支払われる現金を客に送り出すようになっている。また預金保証 52 も貸借書 12 に依りており、第 1 図の現金口 22 を通して預金保証が受け取る預金は預金箱 54 の中へと運ぶようになっている。預金保証 52 の中には印刷部があつて、これら預金保証及び預金の印刷は通点を電子回線 58 によつて制紙され預金の受け取りを行なう。この制紙により同時に、預金の時刻が定められ、また、受け取つた預金債のそれぞれは識別番号を印刷する。上記の要素の他に、この請求保証を制御しているマイクロプロセッサ 59 のような制御電子回路。

増大傾度の物置とするため、補助区画14内には助部傾度及びカーブ74を得ておく。この助部傾度及びカーブでは、第1日のと念じ、両面表示傾度112及びカーブ711が含まれ、技術者がこれらを知ることによつて

所を行ない、要求賠償の故園を参照するように考へてゐる。

上記の要求の他に補助団体14の中には配電を

圖7もがわつて、補助図表14内にある各電報から請求電報の各電報への配置を行つたのである。

圖8図表は、第1圖の制約及び表示例の5をとり附し(書き表わしてある。圖8図表に見られるように制約及び表示例2にはプレフィックスのみ取り置きがあるが、8.0のロビプレフィックスを入れるようになってゐる。この取り置きを最初に使ふことによつて、吾は結果図表配置に実行させることができるようになり、しかし、ヤーパーツを通過して一定の番号を

いる。選択がタンク2の中で選択可能となり光がボタンの数、処置の各段階によって異なる。

の故とすることが出来る。

第3図の例の取柄を続けると、上の4つの文字が通釈可能となりなつていて、画面表示位置30上の文字との対応がある。それら30のそれぞれは画面表示位置30に表示されている文字と一緒に其へてゐるつて、矢印82を使つてこのメカニズムと文字との対応を正確にはつきりと示すことも出来る。画面表示位置30はゆがんで置かれてい

が、この特殊の一部分をも特殊の他の部分に對して目立つ特色を有して音の目を提示するものに対応するが、ソネットと稱せざるゝにすると、**ソネット**の例では、音は4つの可能な選択から一つを選ぶようになつてゐる。その4つの可能な選択は画面表示装置300の各行の字句に表わされてゐて、その字句の行と対応する1つの音節を選択するときは選択可能となつてゐる。このとき、音はある選択をし、4つの選択可能な音節の中の1つを所せば、結果装置はこの選択を

るようになり、設計されたこともできるが、一般的には建築家設置は中庭計画などと密接し、地盤を行なつてもよいかどうかを相談したり、建築家設置を利用して地盤を行なつた後、その旨を設計に引きつらうとする。電圧も0と電圧設置0.2に1つてつて

プログラムをツタエて電報を供給し、他の諸大銀行
電報業へは配電装置70を造りて電報を供給する
先述述べたように振替度12の中に入れる資金
では、プログラムをツタエ、現金支払及び預
金受け取りの振電業がある。既4回で現金支
払総額50では現金支払総額100とこの相補

108を印刷する印刷電子回路108が含まれる。現金支払価値108は、現金送り出し印刷電子回路110によつて印刷されている現金送り出し価値20を適して現金を配に渡す。現金送り出し価値20の外貨部分は、1国に渡わされていて、所20別の保管部分12の持ち方に位置している。

現金は現金価値12によつて受け渡されるが、現金価値12には印刷されたあつて、奇貨金の持ち金番号を印刷するようになっている。現金価値

及び印刷部も2は現金制知電子回路も1Kより増
加されている。

置は利用可能であることを表示しているが何もしていない休みの状態200である。この休みの状

図では、図のAのように、面を材料の利用率のために表示されている。この面では利用（の）の割合が表れていて、同時に日付や時期等の情報も付加的に表示されている。例、図のAの面文章は、面の続けを抑えるため、新しい面決定を示すといふ。

面表示制度 112及び保守用ケーブル 114が
含まれている。制御及び表示部 260の電源及び
断電線 740の制御用と制御ケーブル 750の
116が使用されている。この知照線 116は制
御及び表示部 260の中で設置されよう。受信
印刷部 680の動作制御のための電子回路 712が同
4図にも示されていて、特定の時に受信電圧を
発生するように制御を行なう。

第6図のAの面の文章は、各にシェリット・テープをカーブ状に取り巻いて28人入れるよう設計されていて、それに応じると座席数は次の図解2012へ進む。カーバツプ38を通して一定の番号を記入する等によりつて座席配置を動作する文章は局舎は局舎の指示が必要であるため表示する文章も異なるものとしなければならないが、シェリット・カーブ状を取り利用するのが座席配置利用のよ

第五図が本請求範圍の動作を教むフロッ・チャートである。この請求範圍を従つてどの処置をする場合でも、最初の方の段階はすべて基本的に同じである。請求範圍の最初の段階は、この請求範

り安全な方法である。敵の砲の範圍内では、若し
クレジットカーを差し込み、それから坂を取る
よう指示されているが、もし予め決められた時間
たとえは10秒、たつても踏み取り設置の中にカ

一、いがある場合、図表位置は図幅204で図幅2000の点線する文を重ねて各にカーブを抜き取るように指示する。この点線する文は図6の画面Bに示してあるつて、図6図の画面Aに付け加えて表示する。

水ダブに開けられるのである。もし開けつたが
 ンが押されたとしても、他の水ダブは本来装置に
 より選択可能となつていないから、動作に何の影
 響も与えない。
 図5図をみればわかるように、図208の状

否か。カードを抜き取り、カードをうやむやと読んだ結果そのカードはこの特殊紙張を利用してある正しいものでもあった場合、特殊紙張は使用率 20% の紙質を提示する。この紙質又は他の画面に現わされたもので、常に紙質を高めるよう役し、一定的な指示を与えて、特定の機能やアクションを判定するに資する。先に述べたように、特許すべき発明者や特許のみのが選択可能となり充つていて、紙の面の印刷の材料を入れたアクションのとき特殊紙張により示される。更に指示文からそのアクションの大口を画面に表示している。上記のように指示文の組み合わせにより、常に前述のアクションを判定可能な紙は非常に小さくなる。紙のときは、1つのアクションだけが選択可能となり充つていて、また画面上の矢印により者の注意がその

画面上の各電対数を表わす文から所定する電対
 への矢印が表示されている。若はこの4つの電対
 が可動になっている電対の中の1つを指示すると
 ような電対間の次の電対へ進むことになる。その
 4つの電対の電対数は順5、図の電対212、214
 216及び218に表わしてある。

の中から一つを選択するよう画面上の各選択位置
に対応するボタンへの矢印も合わせて表示して
いる。次に示したように、このようにするとそれ
とつて画面上のメスの可能性を非常に小さくし
ている。ここでは紙道地図を用いた場合の図で
述べて説明しているが、他の場所や図など

212から218までの4つの可能を処理の1つを選択すると、第5図のフローチャートの1つに請求位置の動作は分岐する。処理としては第4図を処理を考へることが出来るが、説明を簡単にするために4つの処理についてだけ考へている。

客の口頭問での転送をすることもできる。そのようにするためには画面と通訳機を作り直せばよい。

今、者は彼の日報行先から彼の当面預金への希望を呼び対応するボタンを押しとした。うう。すなわち送金と請求書はこれらの両方により2222、2224及び

図解 112で表わされる配当処理のグラフをながめれば、この処理の図解は図 5の図に幾分か似たものであり、図 7図に配当処理中にある状態を示される図解が示してある。図解 120で第 7図の図面 A が客に提示される、当期預金と 7 種類の貯金の各組にわたっての配当還元率の配当処理の補助資料を客に求めると、第 7図の図面 A は 4 つの還元率が可能となっていて、5 つの借入金率がグラフ中の 4 つが還元率可能となっていて、これら 4 つ

と云へば、第4図の画面で延滞のサインを押し、
2.2.6の図解を通り、更に図解2.2.8で第7図の
画面が表に提示される。この図解では延滞金額を
入力する1つ前に延滞を入力すると、その値が第5
図の画面に表示されるように延滞が提示される。
第7図の画面A及びBでは、もし延滞をゼロとし
て押し出したのであれば延滞出しにもどつた
サインを入力する選択もできるようなつてい
ると云へば、第4図の画面で延滞のサインを押し

たが能く説明をする気が衰かつたら、第7図の面
面Aで所エーとがアを押しして第8図の面A
の赤みの衣類200にもどすことが出来る。第7
図の面Bでも所エーとがアを押しして赤みの
衣類200に請求環境をもどすことができる。所

第1図の前面にては紙板を傾斜及び転送する口縁を表示している。

前記番号として入力された数字の数を表示するためには、数字が1個人力されるたびに即座に上記星印を1個ずつ表示せよと云い。前記番号は色

ヌスタートが作されているときはいつても、ヌスタートがナンが選択可能となり、ボタンに制約を入れて示してあるようにヌスタートボタンを亮らせて選択させることを示している。キーバッド36から入力しているときにも同じような場合、キーバッド36の中から必要な番号を知らせた場合、ナンスタートは消えしめい数字を入力することができるとヌスタートの画面で英数字を入力した後、画面の中央部がナンスタートを用意される。その選択ボタンが選択可能で亮つていて、このボタンを押すことにより230から232への段階へ進む、段階232ではヌスタートの画面が表示される。ヌスタートの画面の主な目的は昔から筆記簿を人力してもらうことにある。この例ではこの番号を入力することから入力することになっている。

人としての特別な番号で標記してよく必要があるから、この番号を画面上に表示するのはよくない。南正番号として入力された数字の数が多すぎたとき、少なすぎた場合は、第1図の画面①のよう、画面が第1図の画面②の上へ置かれて点検させながら表示される。この画面では入力された数字の数が少いか多いかを表示している。第1図の画面①の数字は少なすぎたことを示していて、多すぎたときもこれは「少ない」を「多い」に代えて表示すればよい。印刷の数を見て、多いか少ないかはわかる。南正番号の入力力のかつたり、数字の数は合っている。④開通した番号のとき、第1図の画面②として、文章が表示されることとなる。そして、南正番号が入力されるまでこの画面が画面②に代わりて表示され、処置を次の段階へ導くこと

第五圖では暗証番号の入力を示す段階3.3.2とその前代、それは最初に行う処理であるが、特記その特記字は暗証番号を入力していないかを簡便検査が関へる段階3.3.0がある。もし暗証番号入力力が入力にされているならば、この段階での暗証番号入力は響喚される。第五圖には暗証番号入力を必要とする処理が他にもある。そのような処理すべてにおいて、暗証番号入力力に掛りあられるが、この図の顔面またはエが指示される。これらの顔面は暗証処理についてのみ示したが、第五圖からわかる通り、照会処理や引き出し処理でもこれらの図面が使われる。

から図面 2, 4, 2 を読み、第 8 図の面 D が表示される。図面 2, 4, 2 は先に述べた図面 2, 3, 0 と同じである。第 8 図の面 D には第 7 図の面 C と同じようにして隔壁番号の入力を繼續している。また先に述べたように、第 7 図の面 D 及び E が必要に応じて照会処理で表示される。

隔壁番号を要求する以外に画面 C では、日付を入力して照会を行なうことを表示している。隔壁番号を正しく入力し、第 8 図の画面 C で最下段のボタンを押すと、図面 2, 4, 2 を読み第 8 図の画面 D を表示する。第 8 図の画面 D は情報表示であつて照会に対する若んらの情報を書き表示する。このとき情報表示がソンの下 2 つが実行可能となつて来り、処理を終わらせるか処理を行なうかの選択を要するようになつてゐる。

第 9 図には照会処理での一定の画面が表わしてある。図面 2, 4, 2 では第 9 図の画面 A が表示されて、キーボードを使って抽出する金額を数字で入力するよう書き表示している。入力された金額は画面 D に表示され、その書きは選択可

所。図4には現金収支の、5つの面図が示されてゐる。図面236では第8図の面図Aが表示される。この面図では、5種の口座のどれが選択可能となり立上つて、5種の口座のどれを調べることもできる。ここでは現金収支の利用者が自分の口座の現金をする場合について現金動作を記述するが、現金動作はそれだけに限られてはいない。たとへば銀行員が本拠地装置を利用する場合、各の口座や銀行の処理についての現金をできるようにするといふ。また本拠地装置を小売店に設置する場合、現金動作は上つて来つたクレジット処理のようなる組合せをさせるやうといふ。第8図の面図Aで銀行員が持つてゐる情報が必要な場合上から2つ目のボタンを押すと、図面237へ進み面図Bが表示される。この面図は補助的な資料を提示してゐて

日野野金の現花商について知りたいか一年間の料
金について知りたいのかを答ふる。こうになつてい
る。第②図の面積では2つの機械農家が3000
畝耕作して先づいて、現花商を知りたいとする
と上の方のメッシュを解す。そうすると図解240

したいと代は、上05番目のボタンを押す。そうすると、第10図の画面Cが表示される。画面Cでは画面Bで可能なより多い額の通知が出てくるように becoming することや、キー入力348を戻つて金額を表示することや、キー入力348を戻つて金額を表示する引き出し金額を入力することもできる。そのような場合は、人はば金額を取り扱つたための登録を現金支払履歴が必要となつる。予め決められた額から通知をする簡単な装置の場合は、第10図の画面BやCの通りでよい。

第10図の画面BまたはCから金額を選んだら、処理は区役所258へ送り第10図の画面Dが表示される。第10図の画面Dでは各キー入力348を消して暗証番号を入力するよう要請する。入力された暗証番号正しくない場合は第7図の画面DまたはEのような表示がなされて表示される。画面DまたはEのような表示がなされて、また第10図の画面Dで示されている。最下段の通知が可能となり次つてくる通知通知ボタンも押された場合、通知履歴258へ進む。この段階258では、現金

第5編7、第8、第9及び第10図の1つは4つの処理ともそれらの処理を付たあと、さらさらに処理を行なうことができる。このことは第7図の画面7、第8図の画面8、第9図の画面9及び第10図の画面10に表示されている。第5図に示されているように処理201でさらに処理を行なうとすると、結果処理では第4図の画面1

例 12 図に示した断面は、どのような断面か。ときにも友人、教室中に空気を表示する。もしこれ特定の断面中に空気を付加的な表示をするような断面の内容を指示している。たとえば例 12 図の断面 A は通常の断面を得て次の断面を出すように指示があるように見える。これは A とは、平均値計算から結果を得る。情報を取り出して、平均値計算から結果を得る。また、結果を得るから平均値計算の情報を元に持ち時間がある時の場合である。このような場合、平均値のあるような場合には、例 12 図に示した断面は、どのような断面か。

一方、受取証を発行するような場面も1つでも行なつた場合は、第6図の段階200に移行して、第11図の画面Bのような画面を表示し、客が受取証を必要とするかどうかを尋ねる。これに対して客は2つの選択可能となり、売つてゐる方（ソナ）から一方を選択するものであるが、受取証を要求しなかつた場合（顧客未定）は直ちに段階200へ進み第11図の画面Aのような表示を行なう。適切な図

性に属する図の画面の如き表示内容も考えられる。受取印判額に故障があつたとき、そのことを告げ与えるのがよい。請求金額の…印に故障があつた場合どのような処理のときでも、その故障に属すること同じような通知を告げることが出来る。

-289-

第12図に示した各画面は投票のためのものである。開票装置で情報や指示を与えるための画面を通知することによる。以上で説明した各画面では他の表示することも可能である。たとえば第7図の画面で示した年次投票機については、特定の口座についての結果について説明したが、第7図の画面Aに示したように他の口座での結果も可能である。第8図の現金投票の場合、第8図の画面Aに示されているような各別の口座を開けることができるが、第8図の画面Bでは開けることのできる情報の種類は選ばれた口座の種類によって決まる。第10図の引き出し装置では、第10図の画面Aに示された口座の中からの表示をする

4. 図面の簡単な説明

圖の圖は、第1図の第2図が、第2図は、

したがって本原則により、寄が間違いない無(処置)を行なえるような寄が動作させる義務は放棄された。無(処置)が得られることがわかる。処置中寄は放棄された無(処置)により導かれる。其後表示無(処置)と示した。無(処置)が導かれる。そのガッソは積算表示無(処置)の内容と対応している。導かれた時に無(処置)がガッソは選択可能となりたり、寄が無(処置)をしなから無(処置)の無(処置)を進めていけるようにしている。無(処置)の表示内容から対応する無(処置)がガッソへの矢印を表示することにより、寄が無(処置)取得正しい無(処置)をしていく手助けすることでもできる。

背面からの透視図で、保管庫や補助区体内にある各要素を裏わした図である。

附4図は、本発明の音が動作させる請求装置を構成する各要素の関係を互わしたブロック図である。

第 6 図は、断面指示数値の表示する一差の断面と表示が N とをとりつゝ、この面では本説明のものが動作する。例え、断面で示す一差の断面の表示は、断面指示数値の表示している。第 7 図は、断面指示数値の表示する一差の断面と表示が N とをとりつゝ、この面では本説明の断面指示で行なわれる。一差の断面の表示は、断面指示数値の表示している。

-290-

第9図は、画面表示装置の表示する一連の画面と選択ボタンとを概わす図で、この図には典型的な資金繰進を行なう一連の画面が表示してある。

第10図は、画面表示装置の表示する一連の画面と選択ボタンとを概わす図で、この図には典型的な資金引き出し処理を行なう一連の画面が表示してある。

第11図は、画面表示装置の表示する一連の画面と選択ボタンとを概わす図で、本発明の者が動作させる請求装置によつて行なわれる各処理の中で、必要に応じて追加的に表示される段階の例を表示している。

第12図は、画面表示装置の表示する一連の画面と選択ボタンとを概わす図で、本発明の者が動作させる請求装置によつて行なわれる各処理の中で、必要に応じて追加的に表示される段階の例を表示している。

52...資金装置、
28...オペラントカード読み取り装置、
36...キーボード、
32, 34...機能選択ボタン。

代理人 浅 村 幸 夫

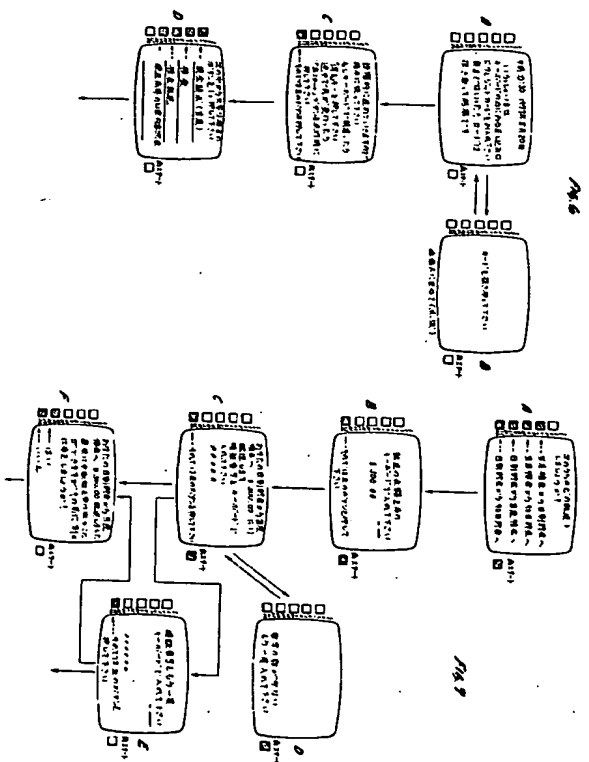
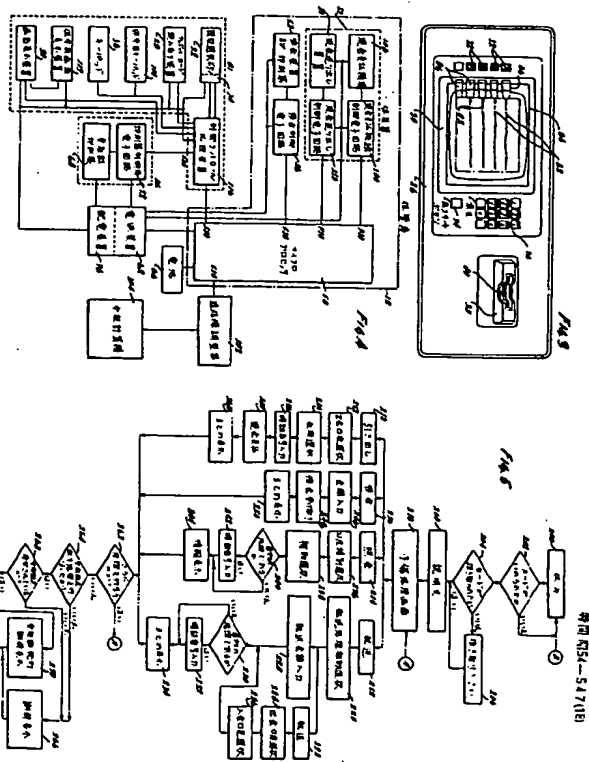
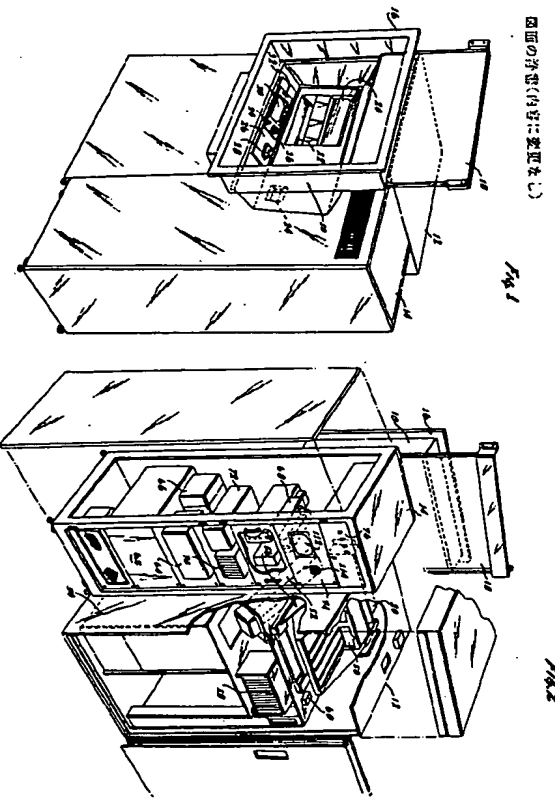


Fig. 9

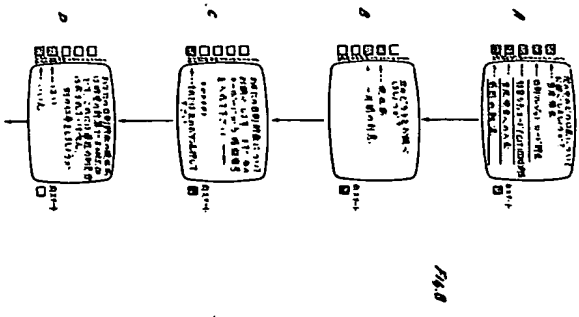
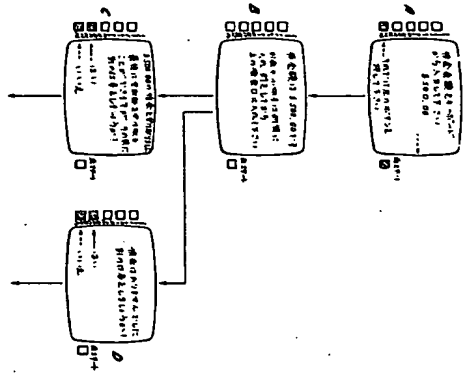


Fig. 10



特許庁長官殿

1. 事件の表示
昭和53年10月10日 第36906号
2. 発明の名称
半導体集積回路の製造方法及び装置
3. 補正をする者
特許出願人 株式会社日立製作所
住所 東京都千代田区千代田 1-1-1
代表者 社長 山本 正二
4. 代理人
特許代理人 山本 正二
住所 東京都千代田区千代田 1-1-1
代表者 社長 山本 正二
5. 補正の目的
昭和53年6月27日
6. 補正により追加する発明の数
7. 補正の対価
特許料 100,000円
8. 補正の内容 別紙のとおり

特許庁長官殿

Fig. 10

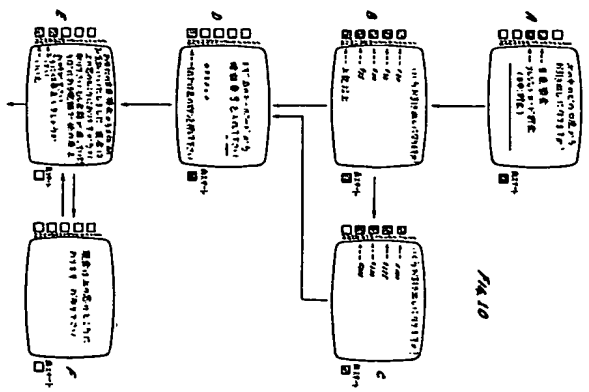
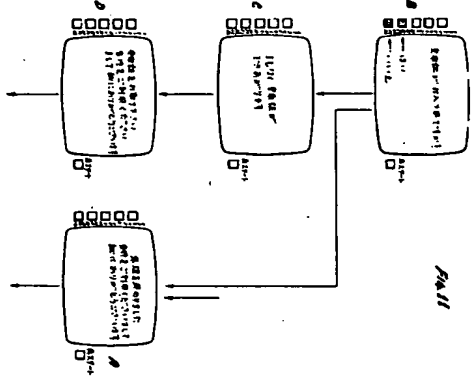


Fig. 11



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☒ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.